

平成27年度 学校経営の改革方針

三重県立伊賀白鳳高等学校

I 目指す学校像（基本理念）

「力」と「志」を持った職業人を育成し、地域に貢献できる学校

- 自ら学び、判断し、行動する生徒の育成。
- 思いやりの心と規範意識を持ち、社会に貢献する生徒の育成。
- 専門的な知識・技術を身につけ、未来を切り拓く生徒の育成。

II 現状と課題

- 1 保護者の本校に対する一番の期待は進路保障であり、教員は進路ガイダンスや就職先の開拓等に精力的に取り組んでいる。しかし、基礎学力が十分定着していないために就職試験に不合格になる生徒もあり、基礎学力の定着が喫緊の課題となっている。
- 2 興味・関心の持てる授業づくりをすすめているが、生徒の学力の幅が大きく、中には授業に集中できない生徒もいる。わかりやすく、生徒が魅力を感じる授業づくりに向けて、更なる授業力の向上が求められている。
- 3 外国にルーツを持つ生徒や特別な支援を必要とする生徒など、多様な生徒が在籍しており、教育相談の充実、教員間の情報共有と生徒理解、支援体制の充実、家庭との連携等によってきめ細やかな支援を行うとともに、生徒の人権感覚を磨いていく必要がある。
- 4 全ての生徒がすべての分野の実習を体験できることは強みではあるが、反面、専門知識・技術の習得のための期間が短くなってしまいう課題がある。
- 5 「若き『匠』育成プロジェクト事業」の取組等により、学科間連携や地域との協働の取り組みはすすんできているが、更なる充実を目指して、引き続き、生徒主体の取組を重視していく必要がある。
- 6 職員数の多さや学科の多さが全教職員の意志統一や情報共有を困難にしており、管理職のリーダーシップと風通しの良い職場づくりが課題となっている。また、地域に向けてホームページやマスコミを活用した情報発信を継続していく必要がある。

III 中長期的な重点目標

- 1 自己の興味・関心や適性に合った進路を選択し、その実現に向けて、社会で求められる基礎学力、専門知識・技術とともに、社会的マナーやコミュニケーション能力を身につけた生徒を育成する。
- 2 検定合格や資格取得、部活動における成果等を通して、生徒の自信とやる気を引き出し、自己実現に向けて努力する生徒を育成する。
- 3 生徒の悩みに寄り添い、きめ細やかな教育相談を行うとともに、教員・生徒の人権感覚を磨き、思いやりの心を育てる。
- 4 学校の教育資源を地域に還元するとともに、地域の教育力を活用し、地域の活性化に貢献できる生徒を育成する。

IV 本年度の行動計画

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 自己の興味・関心や適性に合った進路を選択し、その実現に向けて、社会で求められる基礎学力や専門知識・技術とともに、社会的マナーやコミュニケーション能力を身につけた生徒を育成する。 |
|--|

【基礎学力】

◎学校全体として、生徒につけるべき基礎学力の内容と取組を明確にし、すぐに実施できるものは実施する。

(取組状況の指標：学校全体として、生徒につけさせるべき基礎学力と指導方法が明確になっている)

(達成状況の指標：校外模試における成績が昨年度を上回っている。)

【専門性追求】

◎より高度な資格取得、検定合格やより高い専門性の獲得のために、より早い時期から専門教育が始められるカリキュラムの実現を目指す。

(達成状況の指標：より早い時期から専門の授業が始められている。)

【教員の指導力向上】

◎教員相互の授業見学や授業研究、生徒の「授業振り返りシート」の活用を通して、「わかる授業」「魅力ある授業」を構築する。あわせて授業規律を徹底する。

(取組の指標：全ての教員が1回は他の教員の授業を見学している。
全ての教科で、「授業振り返りシート」が活用されている。)

(達成状況の指標：「意欲的な態度で授業に取り組めた」生徒が85%以上。)

【社会的マナー】

◎来客に対する挨拶や学校内外でのマナー、時間管理、制服の着こなし、校内美化を徹底する。

(取組状況の指標：登校時の声掛け運動、清掃指導、校内外のマナー指導が徹底されている。)

(達成状況の指標：「自ら考えてその場に応じた行動や発言をしたり、マナーを守ったりすることができている」生徒が90%以上。)

【進路指導】

◎進路ガイダンスや相談、情報提供及びキャリア教育によって、早い時期から自己に適した進路を主体的に選択できる力を養う。

(取組状況の指標：学年別進路ガイダンス、「進路だより」、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」等が有効に活用されている。)

(達成状況の指標：「就職・進学について自己実現ができた」3年次生徒が90%以上。

学校斡旋を希望する生徒の内定率100%、進学希望者の100%希望実現。)

2 検定合格や資格取得、部活動における成果等を通して、生徒の自信とやる気を引き出し、自己実現に向けて努力する生徒を育成する。

【検定合格・資格取得】

◎資格取得や検定合格に向けての支援を強める

(取組状況の指標：検定対策として勉強会や補習が実施されている。)

(達成状況の指標：検定や資格の合格数が昨年度より増加している。)

【部活動】

◎部活動を通して競技力・活動の向上を図るとともに、人間力の向上を目指す。

(取組状況の指標：2, 3年生でクラブ活動を継続している生徒の割合が昨年度を上回っている。)

(達成状況の指標：団体3種目以上、個人10人以上が東海大会に出場。)

3 生徒の悩みに寄り添い、きめ細やかな教育相談を行うとともに、教員・生徒の人権感覚を磨き、思いやりの心を育てる。

【相談活動】

◎生徒の小さな変化を見逃さず、悩みに寄り添った教育相談を行うとともに、支援を必要とする生徒についての情報共有や生徒理解、家庭との連携をすすめ、支援を強化する。

(取組状況の指標：スクールカウンセラーによる相談や関係者による情報交換会が有効に活用されている。)

(達成状況の指標：教育相談に係る生徒満足度が昨年度よりも上昇している。)

【人権学習】

◎人権LHR等を通して生徒の人権感覚を高める。

(達成状況の指標：「人権学習を通して『自分の大切さと共に他人の大切さを認める力』を高めることができた生徒が90%以上。)

【安全・安心】

◎実習やクラブ活動等における安全の確保に力を入れる。

(取組状況の指標：ヒヤリハットの事例を全員が共有し、危機管理意識を持って行動している。

ヒューマンエラーをカバーする仕組みを検討している。)

【働きやすい職場づくり】

◎総勤務時間の縮減や休暇の取りやすい職場づくりに取り組む。

(取組状況の指標：昨年度に比べ、放課後の会議が減っていると同時に、勤務の振り替え等が有効に活用されている。)

(達成状況の指標：教員満足度が昨年度より3%以上上昇している)

◎風通しのよい職場づくりに取り組む。

(取組状況の指標：全教職員がデスクネットによる情報共有を行うとともに、職場の中に相談しやすい雰囲気がある。管理職が頻繁に準備室等を訪れ、対話を行っている。)

(達成状況の指標：昨年度に比べ情報共有が進んでいると感じる教職員が増加している。)

4 学校の教育資源を地域に還元するとともに、地域の教育力を活用し、地域の活性化に貢献できる生徒を育成する。

【学科間連携・地域連携】

◎生徒が地域に出て学ぶ機会や地域の方の校内での指導の機会を増やすとともに、生徒を主体とした学科間連携に取り組む。

(取組状況の指標：昨年度に比べ、生徒を主体とした取組が増えている。)

(達成状況の指標：生徒の満足度が上昇している。)

【情報発信等】

◎学校の取り組みや生徒の様子などを保護者や地域に発信するとともに、要望や意見を聞く機会を設ける。

(取組状況の指標：ホームページが頻繁に更新されている。自治会だよりの発行やマスコミへの情報提供が頻繁に行われている。)

(達成状況の指標：昨年度より多くの方がホームページにアクセスしている。)

◎生徒が保護者や地域、中学生等に向けて学習成果を発表できる機会を設ける。

(取組状況の指標：「白鳳Cafe」や実習製品の展示、販売、中学生による見学会等が有効に活用されている。)

(達成状況の指標：イベント等への参加者の数や満足度が、昨年度に比べ上昇している。)